

## V. ケンセツミライトピックス

### 1. 2022～2023年の社会資本整備を取り巻く出来事

#### ボールパークアクセス道路の完成

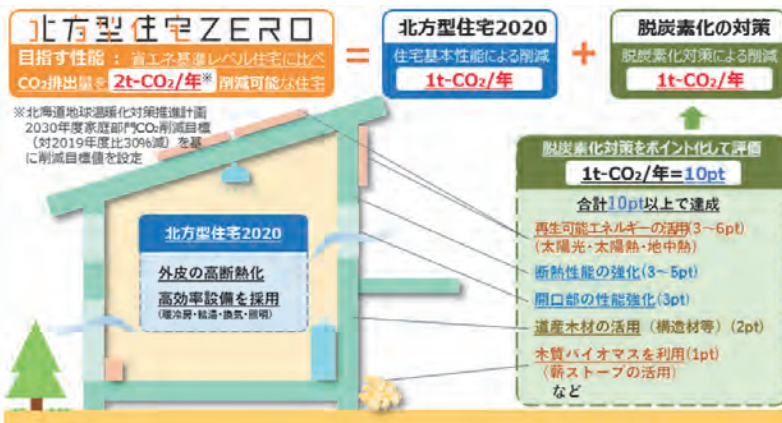
(株)北海道日本ハムファイターズの本拠地となる北海道ボールパークFビレッジ(北広島市)の開業(令和5年(2023年)3月)にあわせ、令和2年度(2020年度)より事業を進めてきたアクセス道路(道道きたひろしま総合運動公園線)を令和5年(2023年)3月1日に供用開始しました。

ボールパークの開業に伴い周辺幹線道路の混雑が予想されており、アクセス道路の新設により円滑な道路交通の確保が期待されています。



#### 「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、『北方型住宅ZERO』を創設・ゼロカーボンモデル団地を展開

令和4年度(2022年度)、住宅の脱炭素化を先導するゼロカーボンモデルとして『北方型住宅ZERO』を創設しました。令和5年度(2023年度)は、地域性を活かしたゼロカーボンモデル団地の展開を進めます。



## 「ほっかいどう住宅フェア2022」を盛大に開催！

令和4年(2022年)10月15日(土)、16日(日)の2日間、札幌市内のアカプラ、チ・カ・ホでハウスメーカーや工務店など50を超える住宅関連企業・団体が集まり、「北方型住宅」や北海道の家づくりに関する取組・製品等の情報を発信。約16,200人が来場しました。



同時開催の「住まいフェスin北海道」には高円宮久子妃殿下もお成りになりました。

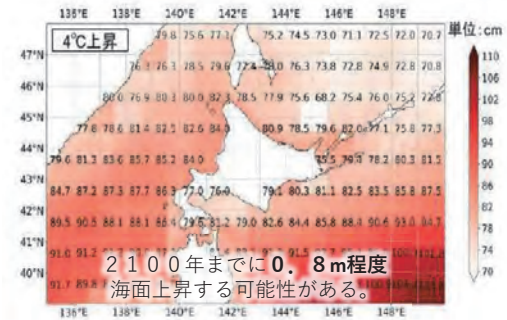
## 気候変動の影響を踏まえた設計外力の設定に係る検討懇談会

これまでは、過去の高潮・波浪に基づき海岸整備を進めてきたところですが、今後は、将来の気候変動の影響を見据えた対策へ転換します。

このため、道では、令和4年(2022年)9月に「気候変動の影響を踏まえた設計外力の設定に係る検討懇談会」を設置し、将来の海面水位の上昇や波浪の激化などを検討し、安心・安全な海岸整備に取り組みます。



高潮による被害状況 (H26(2014).12 根室市)  
国土交通省：気候変動を踏まえた海岸保全のあり方検討委員会(第1回)資料2 P7より引用



気候変動の影響による北海道周辺の平均海面上昇量  
国土交通省：気候変動を踏まえた海岸保全のあり方検討委員会(第5回)資料2 P7より引用

## 道道の道路画像の一般公開

除雪業務の作業軽減を目的に、吹き溜まりが発生しやすい箇所など、除雪車の出動を判断する地点にウェブカメラを設置し、現地の降雪状況等を遠隔から確認できる環境を整備しています。

稚内建設管理部では、これらのウェブカメラで撮影した「道路画像」を一般の方が通行時の参考として路面状況等を確認できるよう、令和2年度(2020年度)よりインターネットでリアルタイムに公開しています。ウェブカメラは段階的に増やしており、令和4年度末では13路線に設置しています。

<https://wakkanaicam.hkd-road.jp/>



モバイル端末でもご覧  
なれます！

## 第39回全国都市緑化北海道フェアの開催

全国都市緑化フェアは、花と緑に関する国内最大級のイベントで、北海道と恵庭市、公益財団法人都市緑化機構の三者により、令和4年(2022年)6月25日から7月24日の1ヶ月間、道内各地の協賛会場、スポット会場と連携のうえ開催し、メイン会場の恵庭市「花の拠点はなふる」では、約34万人の来場を頂きました。



オープニングセレモニーの様子



フェア期間中に開催された「緑化祭」では、佳子内親王殿下のご臨席を賜り、記念の植樹を行いました。

## 帯広圏都市計画道路 3・3・10 共栄通外4 整備事業が特別賞受賞

第34回全国街路事業コンクールにて帯広圏都市計画道路 3・3・10共栄通外4 整備事業が安全安心な歩行者・自転車通行空間の整備だけでなく、市内の南北を貫く重要な動線として、多くの交通を処理しており、並行する幹線道路の混雑緩和にも寄与していることなどが評価され特別賞を受賞しました。



整備前



整備後

帯広圏都市計画道路 3・3・10 共栄通 (帯広市)

## 日本海溝・千島海溝地震特措法の改正

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に係る特措法が令和4年(2022年)6月17日に改正・施行され、新たに津波が発生した場合に、特に著しい津波被害が生じるおそれがあり、津波避難対策を特別に強化すべき地域を「津波避難施設特別強化地域」に指定する規定が盛り込まれ、同年9月30日に道内39市町が指定されました。

当地域に指定された市町村は、今後、「津波避難対策緊急事業計画」を策定し、避難場所・避難路等の整備を進めていくことになります。また、これらの整備に対する国庫補助が従来の1/2から2/3に嵩上げされることとなります。



津波避難施設特別強化地域

## 「北の住まいるタウンの基本的な考え方」の見直し

まちづくりの目指す姿や取組の方向性を示す「北の住まいるタウンの基本的な考え方」について、近年の社会情勢の変化などを踏まえ内容の充実を図り見直しを行い、令和4年(2022年)11月に公表しました。また、「北の住まいるタウン」の普及啓発・推進に向け、第10回の節目となる「まちづくりメイヤーズフォーラム」を開催したほか、先駆的なまちづくりを行っている江別市や室蘭市の事例見学ツアーを行いました。



QRコードからHPにアクセスできます



「第10回まちづくりメイヤーズフォーラム」  
特別講演の鈴井貴之氏



北の住まいるタウン事例見学ツアー(室蘭市)  
「生涯学習センターきらん」

## 「建設産業ミライ振興プランHOKKAIDO」を策定

地域の安全・安心や経済・雇用を支える建設産業の持続的な発展を図るため、新たな建設産業振興施策として「建設産業ミライ振興プランHOKKAIDO」を令和5年(2023年)3月に策定しました。

新たなプランでは、重点課題である「建設産業の担い手の確保及び育成」の解決に向けて、建設産業の「働き方改革」、「生産性の向上」、「魅力の発信」を3つの柱とした各種取組を展開して、将来、担い手となる若者や子どもたちにとって、北海道の建設産業の未来【ミライ】が魅力あるものとなることを目指してまいります。



QRコードからHPにアクセスできます



建設産業ふれあい展(チ・カ・ホ)



高校生を対象としたICT体験講習会

## 宅地造成及び特定盛土等規制法の施行

盛土等による災害から国民の生命・身体を守るため、「宅地造成等規制法」が抜本的に改正され、令和5年(2023年)5月に施行されます。土地の用途(宅地、森林、農地等)に関わらず、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制します。

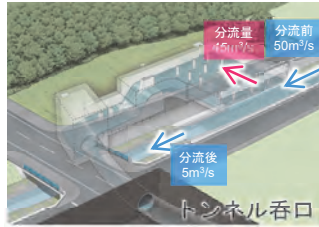
出典：国土交通省ホームページ



もつきさむかわ

## 望月寒川放水路トンネルの供用開始

望月寒川（札幌市）は、住宅密集地を流下しており、川幅を大きく広げる工事が困難であるため、川幅の拡幅と合わせて洪水を豊平川へ分流するための延長約2kmの放水路トンネルを計画し、平成26年(2014年)に着工、令和4年(2022年)4月から供用を開始しました。増水する望月寒川の水を豊平川へ分流し、望月寒川下流の治水安全度が向上します。



## 令和4年災害について～8月豪雨（激甚災害指定）～

令和4年(2022年)は、1月の波浪による被災から融雪期の雪崩災害、8月11日地震災害、8月豪雨など様々な災害が発生しました。特に8月豪雨は、激甚災害の指定を受けて、「大規模災害時の災害査定効率化（簡素化）及び事前ルール」が適用されました。令和に入って、最大規模の査定申請となり、**※査定決定額 98.4億円、248箇所**となりました。また、被災地区は、渡島・檜山地方と胆振・日高地方に集中しており、令和4年(2022年)12月15日までに全箇所の災害査定が完了しました。

※国土交通省所管公共土木施設（公園、港湾除く）、北海道及び市町村の合計



一般道道大峰双葉線（長万部町）

令和4年(2022年)8月15日～16日にかけて  
長万部観測所で観測史上第1位の雨量を記録！

一般道道大峰双葉線は8月15日～16日豪雨により、河川の水位上昇による洗掘と、路面から流下した表流水の浸透により地盤が不安定化したため、路面が陥没した。

## 令和4年度全国多自然川づくり会議にて豊栄川遊水地が表彰！

名寄市内を流れる豊栄川に遊水地を整備する際に、発生するすき取り土を有効利用して早期緑化を図った結果、外来種が9割を占める状態から在来種が優先する植生となるなど、良好な湿地が形成されました。加えて、試験施工を実施し、その植生の状況を確認しながら事業を進めたことも評価され、「全国多自然川づくり会議」において全国の代表4事例に選ばれ、国土交通省水管理・国土保全局長より表彰されました。



左 発表資料例  
右 WEB表彰式の様子

